

[6685/5F-190-001]

Ver.9

5.免疫学的検査 &gt;&gt; 5F.ウイルス感染症検査&gt;&gt;5F190 単純ヘルペスウイルス特異抗原 [FA][組織]

## 単純ヘルペスウイルス特異抗原

[FA][組織]

herpes simplex virus, viral specific antigen

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

6685

001

単純ヘルペス特異抗原

検査予約

至急オーダー

不可

検査オーダーに関する注意事項

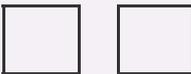
患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダ イテスト

注 80 外



ウイルス



組織

中検外1

\*\_\*-\*\*\*\*-35001

\*\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*

ハ

0ml

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[6685/5F-190-001]

Ver.9

5.免疫学的検査 &gt;&gt; 5F.ウイルス感染症検査&gt;&gt;5F190 単純ヘルペスウイルス特異抗原 [FA][組織]

## 単純ヘルペスウイルス特異抗原

[FA][組織]

herpes simplex virus, viral specific antigen

連絡先 3764

01	ハ	抗原検査採取キット	
採取材料	組織	採取量	&nbsp;
測定材料		測定必要量	



## 採取容器について

## 検体採取について

専用容器で提出ください。

## 採取後検体の取扱い

## 検体搬送について

## 採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	塗抹標本	保存条件1	凍結					

## 受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
				不可
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

## 検査に要する時間(生理検査)

## 再検査・追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間（検体量ある場合のみ）&lt;br /&gt;

（分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照）

## 検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

[6685/5F-190-001]

Ver.9

5.免疫学的検査 &gt;&gt; 5F.ウイルス感染症検査&gt;&gt;5F190 単純ヘルペスウイルス特異抗原 [FA][組織]

## 単純ヘルペスウイルス特異抗原

[FA][組織]

herpes simplex virus, viral specific antigen

連絡先 3764

検査機器	&nbsp;
検査所要日数	2～5日
検査部門・委託先	外部委託（LSIメディエンス）
検査部門(平日時間内)	
検査部門(時間外・休日)	
検査結果報告について	
基準値設定材料・検査方法	
基準値設定材料	組織
検査方法	蛍光抗体法 (FAT) [定性]

## 生物学的基準範囲

		男性	女性	単位
51	HSV-1抗原	陰性(-)	陰性(-)	(定性・判定)
52	HSV-2抗原	陰性(-)	陰性(-)	(定性・判定)

## 基準値情報

## 緊急異常値

## 電話連絡対応

## 臨床的意義

&nbsp;&nbsp;&nbsp;単純ヘルペスウイルスは、DNAウイルスで、1型（HSV-1）と2型（HSV-2）の2垂型に分けられている。HSVの特徴は、初感染後体内に持続感染（潜伏感染）することである。初感染の多くは不顕性感染で、顕性、不顕性を問わず初感染後は三叉神経節、仙骨神経節に潜伏感染し、疲労、妊娠、怪我、熱性疾患その他の原因によってウイルスが再活性化されると、口唇周辺や陰部など特定の皮膚部位に水疱を生じる（回帰性ヘルペス）。<br />&nbsp;&nbsp;&nbsp;HSV感染症の診断法には、ウイルスを直接証明する抗原検査と血清抗体の上昇によって診断する抗体検査とがある。<br />&nbsp;&nbsp;&nbsp;抗原検出法は、ウイルス分離をはじめ、病変部より得た細胞中のHSV抗原を蛍光抗体法（FA）を用いて証明したり、モノクローナル抗体を用いたシェール・バイアル法がありこの方法は特異性が高い。また遺伝子検査として*in situ*ハイブリダイゼーション、PCRなどによる方法があり、ヘルペス脳炎、新生児ヘルペス感染症などの早期治療により救命率を上げることが期待されている。抗HSV抗体の測定法として、EIA法は感度が高くまたIgG、IgM抗体の分別測定も可能

[6685/5F-190-001]

Ver.9

5.免疫学的検査 &gt;&gt; 5F.ウイルス感染症検査&gt;&gt;5F190 単純ヘルペスウイルス特異抗原 [FA][組織]

## 単純ヘルペスウイルス特異抗原

[FA][組織]

herpes simplex virus, viral specific antigen

連絡先 3764

である。中和法はEIA法に比べ感度的には落ちるが特異性は高い。また中枢神経疾患の場合EIA法のIgG捕捉法が有用であり、その特性から目的に応じて使い分けられる。以上から血清学的検査は、主として初感染の診断に有用であるが、中枢神経感染の診断や感染HSVの型別推定にも応用されている。

## 異常値を示す病態・疾患

性器ヘルペス、流産、死産、奇形、脊髄炎、神経炎、新生児ヘルペス、口唇ヘルペス、肝炎、ヘルペス性食道炎、ヘルペス性角結膜炎、脳炎

## 参考文献

川名尚. [産婦人科と皮膚] 外陰のヘルペスウイルス感染(性器ヘルペス). 臨床婦人科産科. 1987, vol. 41

川名尚ほか. 蛍光標識モノクローナル抗体(Microtrak Herpes)による単純ヘルペスウイルス感染症の診

エスアールエル 検査要項

## JLAC10

分析物	5F190	単純ヘルペスウイルス
識別	1420	ウイルス特異抗原
材料	094	塗抹標本(血液, 骨髄以外)
測定法	161	蛍光抗体法(FAT) [定性]

## 変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2015/04/24	2015/04/01～	外部委託先変更(SRL⇒LSIM), 採取容器・報告日数変更
3	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
4	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
5	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
6	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
7	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定

[6685/5F-190-001]

Ver.9

5.免疫学的検査 &gt;&gt; 5F.ウイルス感染症検査&gt;&gt;5F190 単純ヘルペスウイルス特異抗原 [FA][組織]

## 単純ヘルペスウイルス特異抗原

[FA][組織]

herpes simplex virus, viral specific antigen

連絡先 3764

8	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
9	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定